

報告者：徳堂（就労支援室）

令和5年度 第1回台東区障害者地域自立支援協議会（就労部会）報告

1 開催日

毎月第3水曜日 17:00~18:30

1/17、2/15、3/15、4/19（リモート開催）

2 検討した内容

（1）計画策定に向けての地域課題の整理（詳細別紙参照）

現行の障害福祉計画を確認、日頃の支援の中で感じている疑問・意見を出し、次期障害福祉計画策定に向けて意見をまとめた。

「ピアカウンセリング」について意見が出た。

（2）令和5年度検討テーマ

令和4年度は、高齢化をテーマに一般就労から福祉的就労へと移行する際の課題等を検討してきた。令和5年度は、さらに中高年の就労をテーマに検討を進めていく。

（3）企業情報発信について

区内の就労継続支援事業所や移行支援事業所向けに、障害者求人を行っている企業「株式会社サンフレイム」の紹介資料を作成し発信することができた。

令和5年度も継続して情報発信を進め、秋頃に実施する予定。企業の業種については検討していく。

（4）企業見学について

昨年度実施できなかったが、今年度は2企業の見学を実施する予定。日程等詳細については、今後検討していく。

1社は、昨年度より引続き、OA機種の販売や保守事業を行っている会社を予定している。

（5）勉強会

◎1月 就労継続支援事業所の現状と課題（耕房“輝”）

平成29年地域活動支援センターから就労継続支援B型事業所となり、現在の登録者は26名。平均利用者は12名程度。年齢は20代から70代、平均年齢は53歳。障害者別では、精神障害が大半ではあるが、近年は精神と軽度の知的を両方持っている人が増えている。平均工賃は14,000円程度。

《課題》

- ・高齢化
- ・新規利用者確保及び若年者の安定通所
- ・職員の作業量の負担が増えている。
- ・就労意欲を高める方法

《打開策》

- ・広報紙をクリニックや薬局等へ直接手渡しする。
- ・ご家族、クリニック等との連携強化。
- ・利用者に対するこまめな面談、通院同行を行う。
- ・受注量を無理しない。
- ・製菓スペースを拡大し仕事の幅を広げる。
- ・作業効率を上げるために器具を使用するなど工夫している。
- ・週2日1時間の利用など短時間の利用を受け入れる。

《部会員からの意見》

- ・定期的に卒業生を呼んでどのような仕事をしているのか、今どのくらいの給料がもらえるのかなど話をしてもらい、就労意欲に繋げる。
- ・単価交渉や受注を小ロットにしたり、工程が簡単になる機械を導入するなど、職員の業務が楽になるように整えている。
- ・ミスを発見しやすくなるような工夫をする。

◎2月 就労継続支援事業所の現状と課題（HOPE）

就労継続支援A型では、生産活動収入より支払賃金が上回っている。就労継続支援B型は2事業所あり、工賃350円と設定し賃金を支払っている。

《課題》

- ・3事業所の職員への人材育成及び管理。
- ・同じ方向性での職員の支援が難しい。
- ・納期が短く、ロットも多い作業が多い傾向への対応

《部会員からの意見》

- ・月1回集まり、事業所ごとの振り返りと共有・意見交換を行っている。
- ・工程・スケジュールはすべて手書き、毎朝のミーティングで確認・共有している。
- ・受注について常勤、非常勤で役割分担をして対応し、単価交渉に力を入れている。
- ・職員の意識の共有については永遠の課題だと思う。

令和5年度 就労部会勉強会

実施月	担当事業所	内容
5月	就労支援室	事例検討（就労支援室）
6月	つなぐ台東	事例検討（就労継続支援B型）
7月	HOPE	事例検討（就労継続支援B型）
8月	耕房 輝	事例検討（就労継続支援B型）
9月	ハローワーク上野	障害者雇用について
10月	ありがとう	事例検討（就労移行支援）
11月	メトロフルール	障害者雇用の現状と課題
12月	つなぐ台東	事例検討（就労継続支援B型）
1月	HOPE	事例検討（就労継続支援B型）
2月	就労支援室	事例検討（就労支援室）

3 今後のスケジュール

- ・見学会の実施及び企業情報発信の企業を検討
- ・講演会の内容を検討
- ・検討テーマについて、区内各事業所の課題等を情報収集